

来春開館！ 妻木公民館併設の展示室



乙 姫 城

妻木城址の会

〒509-5301

土岐市妻木町3051-1

八幡神社社務所内

TEL0572-57-6441

展示室を備えた公民館

展示室を備えた公民館建設が、この七月十四日に起工式を済ませ、現在基礎工事の真つ最中です。三月末には、完成の予定です。

完成成予想図の右の建物全体が展示室です。

町民の熱い要望に市側も応えていただき、歴史文化のある町に相応しい展示室が誕生することになりました。

妻木城主の氏神様である八幡神社や、その菩提寺である崇禅寺を始め、日東家などの旧家には、私たちが妻木の歴史をより深く理解し、次の世代へと伝承していかねばならない貴重な資料がたくさん残されています。

その実物或は写真などが展示室に展示出来、「城址の会」の会員はもとより広く町民の皆さんや研究者に見ていただき、妻木の謂れをより正しく、深く知っていただけたらと今から胸が躍ります。

会員の皆さんには、ぜひ参観者や学習に訪れた方の説明役になっていただきたいと思えます。

展示室は、およそ一三〇平方メートルの広さがあり、天井は吹き抜けになっています。

その奥に五七平方メートル程の収蔵庫があり、かなりの物を収めておくことが出来ると思えます。

先ず入ってすぐ左側には、鎧兜や馬具などが展示できる幅広の展示ケースがあり、

其処から一歩足を踏み込むと妻木町が一望できる立体模型が目飛び込んでくると思います。其処ではどうしても足が止まってしまおうと思います。

更に中へ進むと両側に備え付けのケースがあり、「禅窟」の字額の写真が掛かっていたり、戦国時代の八幡神社の棟札が掛かっているかもしれません。こんなことを夢見ながら展示室の出来上がるのを楽しみにいたしております。(城址の会事務局長 奥村 孝二)

妻木城発掘の成果が一堂に

土岐市教育委員会による「城館出土のやきもの 妻木城を中心に」(仮称)が左記の日程ではじまります。小里城や鶴ヶ城、兼山城など戦国から江戸時代初期にかけて妻木城と関わりがあった城の遺物も展示されます。ぜひ足をお運び下さい。

(問い合わせは〇五七二・五五・一二四五)

会期 平成十五年十月廿四日から十二月廿三日

休館日 月曜日・第四金曜日・祝日の翌日

会場 土岐市泉町久尻 土岐市美濃陶磁歴史館



『不滅の茶碗』販売のお知らせ

写真集『不滅の茶碗』を二五〇〇円(会員割引、定価三〇〇〇円)にて販売しています。

取扱いは、妻木城址の会、妻木公民館
郵送もいたします。

戦国時代絵巻

流鏑馬と火縄銃の競演

火縄銃の轟音で始まり、子供よろい行列は八幡神社をめざします。行列が神社に到着する頃、神様がみこしに乗って参道を下ってこられます。そして流鏑馬のはじまりです。

流鏑馬は、元和九年に妻木城主妻木雅楽介家頼によって始められました。



火縄銃の実演 (妻木小学校校庭)
十月十二日午後一時三十分

手作りよろい武者行列

午後2時頃小学校を出発

武者行列には鉄砲隊・よろい作り教室受講者・妻木幼稚園児などが参加します。妻木小学校から八幡神社まで



の五百メートル程を進行します。



お問い合わせは
八幡神社までお願いします。

宵宮（前夜祭）

十月十一日 午後八時より

提灯とろうそくの明かりの中で神事に続いてお神樂が奉納されます。多数の方がお参りに来られます。

本祭 流鏑馬神事

十月十二日午後より

十二時 馬場見せ 本番前の最後の練習です。

十三時 本殿にて神事



十四時 みこしの渡御

鳥居を3回まわって御旅所に入ります。

流鏑馬3回（陣笠陣羽織姿）に続いて、弓取りの儀式（昔から矢は放ちません）、続いて流鏑馬3回（華やかな古式の衣装で行われます）

文化財受難の時代

火災・盗難によって文化財が消滅

九月十日夜、多治見市にある虎溪山永保寺で本堂が全焼しました。幸いにも国宝に指定された建造物二棟は延焼をまぬがれたのですが、禅宗のお寺として趣のあった本堂と庫裡は全焼でした。文化財指定の軸などは宝蔵庫にあつて無事だったようですが、比較的新しい記録類などは灰になってしまったようです。

また、仏像などの盗難が頻発しています。人気がないお堂などが主に狙われています。岐阜県内でも話を聞きますが、宝物台帳が完備されている所が少なくない。いったい何が盗まれたのかもわからない状態のようです。

インターネットのオークションを開くと古文書、古陶器など相当数のものが出品されています。文化財はその地域にあつて意義あるものです。郷土の宝はみんな守っていく気運を高めていく必要を痛感します。

妻木城址の会の活動は、皆様の年会費や補助金で成り立っています。地味な活動ですが多くの方のご協力をお願い致します。